

第五十九回 帝國議會 貴族院 衛生組合法案特別委員會議事速記錄第五號

付託議案
寄生蟲病豫防法案

昭和六年三月十六日(月曜日)午前十時十

○委員長(侯爵大久保利武君) 是カラ開會
イタシマス、今日ハ寄生蟲病豫防法案ニ付
テ會議ヲ開キマスガ、尙ホ政府委員ニ於テ

此際御説明ニナルコトデモアレバ先ニ伺
テ置キタイト思ヒマス、或ハ直チニ質疑ニ
移ルコトニシテ宜シウゴザイマスカ、如何
デスカ

○政府委員（赤木朝治君） 大體ノ趣意ヲ申

上ゲマス、寄生蟲病豫防法案ノ御説明ハ本
會議ニ於テ 大體御説明ニナッテ居ルノデア
リマスガ、尙ホ一應稍、詳細ニ申上ゲタイト
思フノデゴザイマス、寄生蟲病ハ日本ノ此
國民ノ間ニ 非常ニ廣ク蔓延シテ居リマシ
テ、蛔蟲ノ如キハ農村ノ住民ノ七割……七
八割ノ者ガ之ニ感染シテ居ルヤウナ状況デ
アルノデアリマス、都會ノ住民ニモ少クナ
イノデアリマスルガ、特ニ農村ニ多イ病氣
デアルノデアリマス、十二指腸蟲病ハ、是
ハ主トシテ農村民ノ間ニ感染イタシテ居ル

ノデアリマスルガ、之ニ依リマスル危害ハ非常ニ重大ナモノガアルノデアリマス、日本住血吸蟲病、肝臟「デストマ」病、是ハ地方ニ於キマス慘害ハ非常ニ著シイモノガアルノデアリマス、即チ寄生蟲病ハ日本ノ國民保健ノ上ニ非常ニ大キナ障礙トナツテ居ルノデアリマス、デゴザイマスカラ從來衛生事業調査及獎勵費ノ豫算ハゴザイマスノデ、其豫算中カラ道府縣其他ノ公共團體ニ於キマシテ寄生蟲ノ調査並ニ其驅除ニ關シマシテ施設イタシテ居リマス、經費ト致シマシテハ國カラ補助金ヲ支出イタシマシテ、其調査及驅除ノ獎勵ヲ爲シテ參ッタノデアリマス、又別ニ山梨縣下ニ於キマシテハ一市六十三箇町村ノ廣イ區域ニ蔓延イタシテ居リマス、日本住血吸蟲病ガゴザイマスルガ、之ニ對シマシテモ豫防撲滅ニ關シテ此豫防及撲滅ヲ期シテ居ルノデアリマス、マシテ其費目中カラ特別ノ補助金ヲ支出イタシテ居ルノデアリマス、斯様ニ致シマシテ此豫防及撲滅ヲ期シテ居ルノデアリマス、ガアルノデアリマス、即チ寄生蟲病ハ日本ノ國民保健ノ上ニ非常ニ大キナ障礙トナツテ居ルノデアリマス、流行イタシテ居リマス、伊タシテ居ルト云フヤウナ風習ノ國ニ於キマシテハ殊ニ蔬菜デゴザイマスルトカ、或ハ魚介類ヲ生デ食ベマスト云フヤウナ風習ノアル所デハ寄生蟲ヲ撲滅スルト云フコトハナカ／＼其效果ヲ奏スルコトガ困難デゴザイマス、殊ニ現在ニ於キマシテハ此病氣豫防ニ關シマスル所ノ法律ガゴザイマセヌガ爲ニ、此病氣ヲ豫防スル上ニ於キマシテ種々遺憾ノ點ガゴザイマスルノデアリマス、ソレデ寄生蟲病豫防法ヲ制定イタシマシテ此病氣ノ豫防事業ニ法的ノ根據ヲ與ヘテ、考カラ致シマシテ、其寄生蟲病豫防法案ト云フモノヲ提出イタシタ次第デアルノデアリマス、此法案ノ大體ノ要旨ヲ申上ゲマスレバ、第一條ニハ此法律ニ依リマシテ豫防病、十二指腸蟲病、住血吸蟲病、肝臟「デストマ」病ト云フ此四ツニ限定イタシマシタノデアリマス、蛔蟲病、十二指腸蟲病ハ我國ニ於ケル寄生蟲病中ノ最モ主ナモノデゴザイマシテ、此ニツ共ニ全國ニ亘テ蔓延イタシテ居ルノデアリマス、國民ノ大部分ヲ侵シテ居ル病氣デゴザイマスノデ、現ニ何レノ地方廳ニ於キマシテモ此病氣ヲ豫防竝ニ

治療ニ努力イタシテ居ルヤウナ次第デアリ
マス、住血吸蟲病ト肝臟「ヂストマ」病ハ所
謂地方病ト云フノニ屬シテ居ルノデアリマ
スガ、此病氣ハ感染者ニ對シマス所ノ健
上ノ障礙ハ非常ニ烈シイモノガアルノデア
リマス、且ツ此病氣ハ治療ガ殆ド不可能デ
ゴザイマスノデアリマスガ、唯之ニ對スル
豫防方法ト云フコトハ幸ニ比較的困難デナ
イノデアリマスカラ、此病氣ノ流行イタシ
テ居リマスル地方ニ於キマシテハ其豫防ニ
注意スルト云フ状況ニナッテ居ルノデアリ
マス、以上ノ理由ニ依リマシテ此四ツヲ病
氣ヲ本法ニ依フテ處置スルコトヲ原則ト致
シテ居ルノデアリマス、最モ此四ツノ病氣
モノガ起リ得ルコトト存ジマスノデ、左様
ナ場合ニハ主務大臣ノ指定ニ依リマシテ本
法ヲ適用ナスコトヲ得ルト云フ途ヲ開イテ
置キマシタノデアリマス、ソレカラ第二條
ニ於キマシテハ、地方長官ガ地方ニ應ジマ
シテ健康診斷又ハ糞便検査ヲ行ヒ得ルヤウ
ニ致シマシタノデアリマス、此病氣ノ根源
ハ人ノ身體ノ中ニアリマスル所ノ寄生蟲デ

リマスル者ノ所在ト、其感染ノ程度ガドレ位デアルカト云フコトヲ審カニシナケレバ其豫防ヲ全ウスルコトガ出来ナイノデゴザイマスノデ、地方長官ニ於テ必要ニ應ジマシテ健康診斷又ハ糞便検査ヲ致シ得ルヤウニ致シマジタノデアリマス、其費用ヲ北海道地方費又ハ府縣ノ負擔ニ致シマジタノデアリマス、第三條ニハ糞便其他ノ物件ノ處置ニ關スル命令又ハ處分ノ規定ヲ入レタノデアリマス、寄生蟲ノ卵ヲ死滅セシムルト云フコトハ此病氣ヲ豫防イタシマスル所ノ根本デゴザイマスルノデ、地方長官ハ糞便ノ中ニゴサイマスル所ノ寄生蟲ノ卵ヲ死滅セシムル爲糞便ノ處置ニ付キマシテ必要ナル命令ヲ發シ、又ハ處分ヲ爲シ得ルコト致シタノデアリマス、糞便以外ノ物件デアル病氣ノ傳播之ニ適當ナ處置ヲ加ヘマシテ、寄生蟲卵若クハ其寄生蟲ノ幼蟲ガ人體ニ侵入スルコトヲ防止スルコトガ必要ナノデアリマスノデ、是等ノ處置ニ對シマシテモ又糞便ノ處置ト同様ノ命令又ハ處分ヲ爲シ得ルコトトナック居ルノデアリマス、次ハ第四條デゴザイマスルガ、第四條ニハ市町村ヲシテ豫防施設ヲ爲サシムルコトニ致シマジタノデアリ

マス、此病氣ノ豫防ハ唯一人ノ努力ニ依テ效果ヲ全ウスルコトガ困難ナノデゴザイマシテ、一つノ村或ハ一つノ部落ト云フモノシテ、豫防ニ依リマシテ、此豫防ノ效果ヲ舉ゲルコトガ出來ルノデゴザイマスルノデ、市町村ハ地方長官ノ指示ニ從ヒマシテ諸般ノ豫防施設ヲ爲スト云フコトニ致シテ居ルノデゴザイマス、ソレカラ第五條ニ於キマシテハ其市町村ノ經費ニ對シマシテ道府縣ガ之ニ對シテ補助ヲ致シマスル規定ヲ置キマシタノデアリマス、ソレカラ北海道地方費又ハ府縣ガ前條ノ施設即チ第四條ノ施設其他寄生蟲病豫防ノ爲ニ市町村ガ費用ヲ出シマシタ場合ニ於キマシテハ、ソレニ對シテ之ヲ補助ヲ致スト云フコトニ致シマシテ、其補助ノ細目ニ付キマシテハ命令デ以テ之ヲ規定スルト云フコトニ致シマシタノデアリマス、ソレカラ次ハ第六條ニ於キマシテハ第三條ニ依リマスル所ノ地方長官ノ命今又ハ處分ニ依リマシテ、豫防ニ關スル處置ヲ致シマシタ者ニ對シ道府縣ガ又補助ヲ爲シ得ルト云フ規定ヲ置キマシタノデアリマス、豫防ニ關スル處置ハ相當ノ經費ヲ要スルモノデアリマスルノデ、第三條ノ地方長官ノ命令又ハ處分ニ於テ之ヲ爲シマシタ

場合ニハ、其費用ノ補助ヲ爲シ得ルト云フ
ニ道府縣ニ於キマシテ次第デアリマス、既
便所デアリマストカ、或ハ糞尿ノ溜リデゴ
ザイマストカ云フモノヲ設ケマス所ノ字ヤ
組合、又ハ個人ニ對シマシテ、其費用ノ一
部ヲ補助イタシテ居ルモノガアルノデアリ
マス、本法ノ施行後ニ於キマシテハ市町村
ノ施設ニ對スル補助ハ、前條ニ依テ之ヲ爲
スコトガ出來マスシ、組合又ハ個人ノ爲シ
タル豫防處置ノ或ルモノハ、本條ニ該當ス
ルモノト致シマシテ、之ニ補助ヲ爲シ得ル
モノト致シタノデアリマス、第七條ニ於キ
マシテハ國庫ガ道府縣ニ對スル補助ノ規定
デゴザイマシテ、本病豫防ノ爲ニ、道府縣
ノ支出イタシマシタル其支出額ノ六分ノ一
ヲ國庫カラ補助スルコトト致シタノデゴザ
イマス、是ハ他ノ諸種ノ疾病ノ豫防法ニモ
大體斯様ナコトガアリマスノデ、其例ニ倣^フ
タ譯デアリマス、第八條ニハ罰則ノ規定ヲ
設ケマシテ、第三條ノ規定ニ依ル地方長官
ノ命令ニ違反シタル者ニ對シマシテハ「ト
ラホーム」豫防法ニ於ケル罰則ト同ジヤウ
トニ定メマシタ次第デアリマス、尙ホ附則
ニ此法律ノ施行ノ期日ヲ各條ニ付テ勅令ヲ

○委員長(侯爵大久保利武君) 是ヨリ質疑

以テ之ヲ定メルコトニ致シマシタノハ、第七條ノ國庫補助ノ規定ハ、只今直ニ此原則ニ基イテ總テノ補助ヲ致シマスト云フコトハ財政上困難デアリマスノデ、現在持ツテ居リマスル豫算ノ範圍内ニ於テ補助ヲ致シマスト云フコトハ、當分已ムヲ得ナイコトト存ジマスノデ、其意味カラ致シマシテ、各條ニ付テ施行ノ期日ヲ定メルコトヲ得ルコトニ致シタ次第デアリマス、斯様ナ次第デゴザイマシテ、此病氣ノ豫防ト云フコトハ、日本ノ國民保健ノ上ニ最モ重要ナ關係ヲ持ツテ居リマスル存ジマスノデ、ドウカ御審議ノ上御協賛アラムコトヲ切ニ希望イタシマス次第デアリマス。

云フ風デアリマスカ

○政府委員(赤木朝治君) 先刻申上ゲマシ

タノガ、チヨット十分デナイト存ズルノデア
リマスガ、私ノ申上ゲ様ガ惡カタノデアリ

マス、此費用ヲ市町村ガ多クヲ要スルノハ
三條ヨリハ寧ロ、四條デアリマシテ、四條ニ
依リマシテ市町村ガ色ニ豫防及治療ニ關ス

ル施設ヲ澤山ヤルト云フコトニナリマスレ
バ多額ノ費用ヲ要スルノデアリマス、三條
ノ方ハ大シタ費用ヲ要スルノデハアリマセ
ヌガ、唯現在市町村ニ於キマシテモ相當ナ
豫算ヲ以テ、マア十分デハゴザイマセヌガ、
多少ノ豫算ヲ以テ豫防治療ノコトヲヤッテ
居ルノデアリマス、ソレカラ殊ニ北海道、
府縣ノ豫算ニハ相當ニ多額ノ金ヲ持テ居
リマスルノデ、其豫算ヲ持テ居リマスル範
圍内デアリマス、ソレカラバ、此法ニ依ッテ之ヲ
執行スルコトガ出來ルノデアリマス、實ハ
此法律ニ伴ヒマシテ國庫ノ方ノ豫算モ十分
ニ計上スルコトガ出來マスルナラバ、國庫
デ施行イタシモ宜シノデアリマスガ、

今年ハ何分ニモ此國庫ノ方ノ豫算ガ更ニ新
ニ増額ヲ取ルコトガ出來マセヌノデ、其點
ヲ遺憾トシテ居ルノデアリマスガ、是モ法
律ノ通過後ニ於キマシテハ將來ハ府縣衛生

調査獎勵費カラ出シテ居ルヨリモ、別途ニ

此補助豫算トシテ計上スル方ガ宜イト存ジ

テ居ルノデアリマス、唯此四條等ニ依リマ

スル豫防治療ノ施設モ現在地方費デ持テ
相當ニアリマスルカラ、其範圍内ニ於テ此
法律ニ依テ之ヲ實施スルト云フコトハ出

來ルノデアリマス、何分ニモ國及地方ノ財
政状態ニ於キマシテ多額ノ費用ヲ増スト云
フコトハ當分困難ナコトト存ジテ居リマス
ノデ、希望ト致シマシテハ十分ノ費用ヲ投
ジテ、十分ニ豫防ヲ致シテ貰ヒタイト云フ
希望ハ持テ居リマスルケレドモ、是ハ十分
ノモノヲ補助スルカモ知レヌゾト云フ、唯
ダケデアリマセヌ、地方廳ニ於テモ地方廳
ノ豫算ガアリマスル範圍内ニ於テ、此法ヲ
架空ヲ示シテ事實ハ府縣費デヤラシテ仕舞
フト云フ法律デアル、甚ダ不深切ナ、危險
ナ法律デアルト思ヒマスガ、今ノ所デ御使
ヒニナルコトガ出來ル金ト云フモノハ幾ラ
程ノモノデアリマスカ

○阪本彰之助君 僅ナ全國ニ對シテ五万足
スコトガ出來ル、ササト強制シテ置イテ、
サウシテ國ガ補助スルカセヌカト云フコト
ハマダ未定ノコトデアッテ、マア所謂見セ金
ト云ヒマスカ、何ト云ヒマスカ、唯是ダケ
ノモノヲ補助スルカモ知レヌゾト云フ、唯

ダケデアリマセヌ、地方廳ニ於テモ地方廳
ノ豫算ガアリマスル範圍内ニ於テ、此法ヲ
架空ヲ示シテ事實ハ府縣費デヤラシテ仕舞
フト云フ法律デアル、甚ダ不深切ナ、危險
ナ法律デアルト思ヒマスガ、今ノ所デ御使
ヒニナルコトガ出來ル金ト云フモノハ幾ラ
程ノモノデアリマスカ

○政府委員(赤木朝治君) 國ノ方デゴザイ
マスカ

マスルノデ、此法ヲ施行イタシマシテモ、
急ニ地方費ヲ増大セシムルト云フヤウナコ
トハ無イヤウニ致シタイ考デ居ルノデアリ

○阪本彰之助君 宜シイデスカ

○委員長(侯爵大久保利武君) 宜シウゴザ
イマス

○阪本彰之助君 宜シイデスカ

付イタシマシタ金額ガ五万二千九百二十六
年年度ニ御計上ニナッテ居ル豫算ハドレホド

大藏省ノ交渉ガ誠ニ面倒デ、是ハ救護法ト
同ジヤウデ、一旦此法律ガ出テシマッテ六條
以上ハ既ニ施行サレテ居ル、第七條ハト云
フト大藏省ガ出ス氣遣ヒハナイ、サウ云フ

邊ハ内務省トシテドウ云フ御考デ、左様ナ
不深切ナ法律ヲ御作リニナッタノデアリマ
セウカ、其御趣旨ヲ一つ御答辯願ヒタイノ
デアリマス

○阪本彰之助君 ソンナ古イコトデナク六
年年度ニ御計上ニナッテ居ル豫算ハドレホド

○政府委員(赤木朝治君) 昭和四年度ニ配
圓……

○阪本彰之助君 私モ此附則ガ大變氣ニ
ナッテ居リマシタガ、森田君カラ御質問デ略、

分リマシタガ、コンナ一體法令ハ是マデア
ルカ存ジセマヌガ、頗ル危險ナコトデ、今

政府委員ノ御説明ニ依リマスルト、第七條

六千三百五圓ニナッテ居リマス

シ減、テ居リマス、昭和六年度ノ豫算ハ四万

ラヌ金デアリマスカラ、之ヲ各府縣ニ割テ
見ルト、一府縣ニ一千圓バカリノモノニナル、

縣デ即チ府縣デモ命令デスガ、命令デヤラ
スコトガ出來ル、ササト強制シテ置イテ、
サウシテ國ガ補助スルカセヌカト云フコト

ハマダ未定ノコトデアッテ、マア所謂見セ金
ト云ヒマスカ、何ト云ヒマスカ、唯是ダケ
ノモノヲ補助スルカモ知レヌゾト云フ、唯

ダケデアリマセヌ、地方廳ニ於テモ地方廳
ノ豫算ガアリマスル範圍内ニ於テ、此法ヲ
架空ヲ示シテ事實ハ府縣費デヤラシテ仕舞
フト云フ法律デアル、甚ダ不深切ナ、危險
ナ法律デアルト思ヒマスガ、今ノ所デ御使
ヒニナルコトガ出來ル金ト云フモノハ幾ラ
程ノモノデアリマスカ

○政府委員(赤木朝治君) 六年度ハ是ハ少
シ減、テ居リマス、昭和六年度ノ豫算ハ四万

ラヌ金デアリマスカラ、之ヲ各府縣ニ割テ
見ルト、一府縣ニ一千圓バカリノモノニナル、

縣デ即チ府縣デモ命令デスガ、命令デヤラ
スコトガ出來ル、ササト強制シテ置イテ、
サウシテ國ガ補助スルカセヌカト云フコト

ハマダ未定ノコトデアッテ、マア所謂見セ金
ト云ヒマスカ、何ト云ヒマスカ、唯是ダケ
ノモノヲ補助スルカモ知レヌゾト云フ、唯

ダケデアリマセヌ、地方廳ニ於テモ地方廳
ノ豫算ガアリマスル範圍内ニ於テ、此法ヲ
架空ヲ示シテ事實ハ府縣費デヤラシテ仕舞
フト云フ法律デアル、甚ダ不深切ナ、危險
ナ法律デアルト思ヒマスガ、今ノ所デ御使
ヒニナルコトガ出來ル金ト云フモノハ幾ラ
程ノモノデアリマスカ

○政府委員(赤木朝治君) 六年度ハ是ハ少
シ減、テ居リマス、昭和六年度ノ豫算ハ四万

ラヌ金デアリマスカラ、之ヲ各府縣ニ割テ
見ルト、一府縣ニ一千圓バカリノモノニナル、

縣デ即チ府縣デモ命令デスガ、命令デヤラ
スコトガ出來ル、ササト強制シテ置イテ、
サウシテ國ガ補助スルカセヌカト云フコト

ハマダ未定ノコトデアッテ、マア所謂見セ金
ト云ヒマスカ、何ト云ヒマスカ、唯是ダケ
ノモノヲ補助スルカモ知レヌゾト云フ、唯

ダケデアリマセヌ、地方廳ニ於テモ地方廳
ノ豫算ガアリマスル範圍内ニ於テ、此法ヲ
架空ヲ示シテ事實ハ府縣費デヤラシテ仕舞
フト云フ法律デアル、甚ダ不深切ナ、危險
ナ法律デアルト思ヒマスガ、今ノ所デ御使
ヒニナルコトガ出來ル金ト云フモノハ幾ラ
程ノモノデアリマスカ

○政府委員(赤木朝治君) 六年度ハ是ハ少
シ減、テ居リマス、昭和六年度ノ豫算ハ四万

ラヌ金デアリマスカラ、之ヲ各府縣ニ割テ
見ルト、一府縣ニ一千圓バカリノモノニナル、

縣デ即チ府縣デモ命令デスガ、命令デヤラ
スコトガ出來ル、ササト強制シテ置イテ、
サウシテ國ガ補助スルカセヌカト云フコト

ハマダ未定ノコトデアッテ、マア所謂見セ金
ト云ヒマスカ、何ト云ヒマスカ、唯是ダケ
ノモノヲ補助スルカモ知レヌゾト云フ、唯

クノハ御尤デゴザイマスガ、現在道府縣ニ
於キマシテモ相當ナ之ニ對スル經費ヲ持ツ
テ居ルノデアリマス、從テ道府縣ノ持ツテ居
リマス經費ノ範圍内ニ於テ此法ヲ施行イタ
シマシテモ相當效果アルコト存ジテ居ル
ノデアリマス、ソレニ對シマシテ國ガ六分
ノ一ノ補助ヲ直チニ全部實行イタシマスル
コトガ出來ルナラバ、是非ヤリタイノデア
リマスケレドモ、本年度ヨリ之ヲ實行スル
ト云フコトガ困難ニアリマシタノデ、差當
リ各條ニ付キ、ト云フコトニ致シマシテ、
施行ノ時期ヲ暫ク待チタイ、斯様ナ趣旨デ
ゴザイマシタノデスガ、是ハ法律ガ通過イ
タシマスナラバ、一日モ早ク此方ヲ全部施
行スルコトニ致シタイト云フ考ヲ持ツテ居
ルノデアリマスル、通過イタシマスレバ大
藏省ハ之ニ對シテ相當ナル費用ヲ補助シテ
クレルコトトス様ニ考ヘテ居ルノデアリマ
ス、殊ニ寄生蟲ノ豫防ト云フヤウナコトハ、
是ガ何ヲ申シマシテモ國民自身ガドウシテ
モ之ヲ豫防シナケレバナラナイ、之ニ依テ受ク
ヲ促スト云フコトガ、先決ノ一番大切ナル
コトト考ヘマスノデ、斯様ナ法律ヲ作リ、
之ニ依テ寄生蟲病ト云フモノハ國民トシ
テ豫防シナケレバナラナイ、之ニ依テ受ク
ル所ノ被害ガ大キイノデアルト云フコトヲ

能ク教育スル意味ニ於テモ此法案ガ其效果少クナイト考ヘルノデアリマス、勿論十分ナル經費ヲ投ジマシテ、ソシテ十分ナル施設ヲ致シマスルト云フコトハ、是ハ理想地
方費ニ於キマシテモ新ナル費用ヲ多額ニ
増スト云フコトハ、目下ノトコロ困難ト存
ジテ居リマスルノデ、ソレ等ハ國ハ勿論地
方費ニ於キマシテモ、財政ノ許ス範圍内ニ
於テ漸次之ヲ改良イタシテ行クト云フコト
ニ致スヨリ致シ方ガナイ、又ソレニ依テ相
當ノ十分ナ效果ヲ得ルコトガ出來ルト存ズ
ルノデアリマス、此各條ニ付キ之ヲ定メル
ト云フコトニ致シマシタノハ、甚ダ深切ヲ
缺イテ居ルヤウニモ存ゼラレルノデアリマ
スケレドモ、是ハ差當リノコトデゴザイマ
シテ、是ガ爲ニ地方ニ對シテ重イ迷惑ハ掛
ケナイヤウニ致シタイ、現ニ持テ居リマス
ル豫算ニ致シマシテモ、或程度ノ補助ハ出
來ルノデアリマス、新ニ地方ノ負擔ヲ増加
セシメルト云フコトニ致シマスルナラバ、
ソレニ對シテ、法ニ依テ補助ヲ致サナケレ
バナラヌト存ズルノデアリマス、其增加ハ
結果ニ於テモ增加イタサセナイト云フコト
デ此法ヲ施行シタイト思フノデアリマス、
地方ニ於テモ增加イタサセナイト存

ズルノデアリマス
○阪本鉄之助君 段々御陳辯ニナルノヲ承
ハレバ承ハル程、ヲカシクナツテ参リマシ
テ、サウスルト地方モ政府モ今アル金デヤッ
テ行クノダカラ、迷惑ハ掛カラヌト云フコ
トニ歸スルヤウデスガ、サウスルト此法律
ヲ出ス必要方無イ、モウ少シ積極的ニ行ク
爲ニ此法律ガ必要ニナツテ來ル、此法律ガ必
要ニナツテ來レバ、六分ノ一以上ノ補助ト云
フモノハ、ドウシテモ實施シナケレバ此法
律ノ效用ハ何等ナイノデスカラ、若シ此法
律ガ兩院ヲ通過イタシマシタナラバ大藏省
ノ御交渉ノ經マル迄ハ此勅令ヲ御出シニナ
ラスト云フコトナラ、幾ラカ安心シテ御協
賛ガ出來マスケレドモ、一ト度是ガ法律ニ
ナツテ仕舞ヒマスト、政府ノモノニナル、ド
ウシテモ今ノ御話ニ依ルト、第七條ハ取除
ケニシテ置イテ、今有リ合セテ居ルダケノ
金デヤツテ行クト云フ箇條ダケヲ施行ナサ
ル、明ニサウ云フ御考デアルト云フコトガ
想像出來ル、ソレデ其コトモ御陳辯ハ大抵
盡キテ居ルヤウデアリマスカラ、實際ニ於
テ使ヒ得ル現在ノ府縣ノ豫算トシテドノ位
位ノ金ヲ使ハセル御積リデアルカ、サウ云
ノモノヲ持ツテ居ルカ、トテモ分リマスマイ
ケレドモ、併シ市町村ト云フモノニ、ドノ

フヤウナコトヲ一ツ何カ刷物ニシテ御廻シ
ヲ願ヒタイ、是ハ要求イタシマス
○政府委員(赤木朝治君) 道府縣ガ持ツテ
居リマスル豫算ハ、昭和四年度ノ豫算ノ調
べデゴザイマスガ、昭和四年度ニ於テ十九
万七千圓ヲ持ツテ居リマス、ソレデ此法律ヲ
完全ニ施行イタシマスルノニハ、勿論今御
話ノ如ク相當ノ經費ヲ要スルノデアリマス
ガ、少クモ二條、三條ノ如キモノハ、是ハ
多額ノ經費ヲ要シマセヌデ、而モ相當ノ效
果ヲ擧ゲ得ル規定ト思フノデアリマス、四
條ニナリマスルト、相當ノ多額ノ經費ヲ要
スルノデアリマス
○阪本鉉之助君 只今御話ノ十九万七千圓
ハ第三條ダケノコトニ付テ使フノデアリマ
スカ、第五條ノ場合ニモ此十九万圓ノ中力
ラ支出スルノデアリマスカ、サウスルト第
五條ノ支出ハ既ニ今日此法律ガ無クテモ北
海道及府縣ハ相當ニ市町村ニ向ツテ十九万
圓ノ中カラ補助ヲシテヤルモノデアリマス
カ

ス、市町村ニ對スル補助費ハソレ程多額デ
ハナイノデアリマスガ、市町村ニ對スル補
助費ハ昭和四年度ニ於キマシテ二万一千圓
補助イタシテ居リマス

○阪本彰之助君 サウスルト十九万七千圓

カラ二万一千圓ヲ引キマスト、後ノ十七万

圓バカリハ矢張リ第三條ニ依テ使フ、斯ウ

見ルコトガ出來ル、サウスルト二万一千圓

ト云フモノハ補助ノ意味デハナイ、獎勵ノ

ヤウナ意味ダト云フノデスカ、何カ一定ノ

政府カラ御示シニナツ率ガアツテ、町村ノ

人口トカ何トカニ割振テ僅ニ何百圓ト云

フ金デゴザイマスガ、何百圓ニハ當ラヌデ

セウガ、全國ノ町村デスカラ誠ニ僅ナモノ

ダト思ヒマスガ、ソレヲ割振ル方法ガアル

ノデスカ

○政府委員(赤木朝治君) 是ハ現在ハ一定

ノ法律ニ基イテ居ルノデナイノデゴザイマ

スノデ、各府縣區々デゴザイマス、其府縣

デ獎勵規則或ハ補助規則ヲ設ケテ居リマシ

テ、ソレニ依リマスト補助方法ハ三分ノ一

以内ト云フコトニナツテ居ルノモアリマス

モアリマス、或ハ二分ノ一ト云フヤウニ、

補助ノ率ハ各府縣デ區々ニナツテ居リマス、

又市町村デ何等ノ施設ヲ致シテ居リマセヌ

モノニハ、補助獎勵金ヲ出シテ居リマセヌ
ノデ、此金額ハ何等カノ施設ヲ致シテ居ル
所ダケニヤルノデアリマス

○森田福市君 此法律ノ施行細則デモ何カ

アルノデアリマスカ、ナイノデアリマスカ、

チヨットソレヲ先キニ聽イテ置キタイ

○政府委員(赤木朝治君) マダ是ハ未定稿

デゴザイマスルガ、豫防法ノ施行規則ト云

フモノヲ設ケル積リデ、是ノ規則、案ヲ持

テ居リマス

○森田福市君 先ヅソレヲ一ツ御配リヲ願

ヒタイト云フコトヲ要求シテ置キマス、私

ハ斯ウ思フノデスガ、寄生蟲豫防ト云フコ

トノ必要ハ現ジマス、ソレハ必要デアリマ

セウガ、全國ノ町村デスカラ誠ニ僅ナモノ

ダト思ヒマスガ、ソレヲ割振ル方法ガアル

ノデスカ

○政府委員(赤木朝治君) 是ハ殆ド今政府委員ノ御話

ノ通リ全國ノ市町村ニアル譯ナンデアリマ

スカラ、之ヲ其全國ニ瓦ツテノ方法ノ第二

條、第三條ヲ遂行スルコトニ當テ、今考ヘ

テ見マスノニ、六年度ノ豫算ノ四万六千三

百圓ヲ全部此補助ニ充當スルト假定シテ見

マスト、一縣ガ約千圓見當ニナルノデアリ

マス、約一府縣ニ對シテ千圓、サウスルト

其千圓ノ六倍ノ事業ヲシテ行クトシテ六千

ヲヤルコトニナルノデアリマスカラ、サウ

スルト六十圓ヲ一市町村ニ割テ見マスト

ノ計算ノ根據ハサウナリマス、是ハ算盤ニ

ヘ約千圓シカナイノデスカラ、一府縣約千

圓、ソレノ六倍ト見テ行クト事業ガ一府縣

ニ對シテ六千圓ノ事業ガ出來ル、六千圓ノ

事業ガ出來テ五千圓ヲ地方ガ負擔シテ千圓

ハ國カラ貢フ、合計六千圓ト云フモノヲ市

町村ニ分ケテヤルト、一市町村ハ、小サイ

縣ハ別デアリマスガ、大體四百市町村位ノ

平均デアリマセウ、二百五十位ノ所モアル

ガ四百位ノ所モアル、依テ一市町村ニ對シ

テ十圓乃至十五圓ノ事業ヲ行テ行クノデ

アリマスガ、ソレデハ逆モ私ハ何ト言フタ

ラ宜イデセウカ、今ノ減稅案デ云フ蛋ノ涙

ト云フガ、蛋ノ涙ヨリモ何カモット小サイモ

ノニシカナラヌ、一市町村ニ十圓ヤ十五圓

ノ施設ヲシテ見タ所デ、是ハドウカト思

ハレル、是ハサウスルト政府ノ方デハ甚シ

イ所ダケヤラウト、斯ウ言ハレルカモ分ラ

ヌガ、勅令ヲ以テ之ヲ爲サル以上ハ矢張リ

地方長官ガヤルノデハナイ、實際ハ衛生課

長ガヤル、府縣ノ衛生課長ノ仕事デス、衛

生課長ハ自分ノ所ノ仕事ヲ殖ヤス爲ニ無暗

テ行クト云フト地方ノ市町村ハ大變ナ經費
ヲ掛ケル、今言フタヤウニ十圓カ十五圓シ

カ一市町村ハ貢ハレナイコトニナル、數字

ノ計算ノ根據ハサウナリマス、是ハ算盤ニ

誤リガアルカモ知レヌ、多少ノ是ハ間違ガ

アルト思ヒマスガ、大體ニ於テ一府縣ニ六

千圓以上ノ仕事ガ出來ヌコトハ明デアル、

六千圓デ行クナラバ一市町村ハ十圓カ十五

圓ノ補助シカ貢ヘナイコトハ明デアル、サ

ウスルト云フト殆ド市町村ノ方ハ此第三條

ノ命令デ束縛シテ置イテ、而モ私ノ氣ニ喰

ハヌコトガアルノハ第八條デ罰金ヲ取ルヤ

ウニナツテ居ル、是ハドンナ命令ヲ出サレル

カ知レヌケレドモ、郡部ニハ御承知ノ通り

川上デ汚物ナンカノ洗濯ヲ致シマス、アノ

流レ川デハ……、サウスルトアノ下ノ方デ

ハ飲食物ヲ洗テ居リマス、是ダケ詰リ簡單

ニ云ヘバ媒介スルノデアリマス、サウスル

トソレヲヤツタ場合ニハ直テニ第八條ニソ

ンナコトハ出來ヌト云フコトニナツテ居ル、

然ルニ傳染病ト同ジヤウニ此川デハ飲食物

ヲ洗テハイケナイ、若シ洗タナラバ、第

八條ニ依テ今度ハ五十圓ノ罰金ヲ取ラレ

ル、兎モ角モヤラズブタクリノ法律ト云フ

ノハコレダラウト思フ、兎ニ角私ハ斯ウ云

フ法律ニ依テ第三條ノ命令ヲ出シテモ守

ニ第三條ノ命令ヲ出シテ行ク、命令ヲ出シ

ラヌモノガ多イト思フ、之ヲ斯ウ云フ風ニ
我ミノヤウニ此處ニ來テ此席上デ審議シテ
モ法律ニ依テハナカヽ頭ニ入ラヌガ、マ
シテ郡部ニ居テ此法律ガ徹底スルモノデ
アリマセヌ、從テ府縣知事カラ命令ガ出テ
モ川下デ洗テ居ル、川上デサウ云フモノヲ
洗テ居ルノニ而モ下デ飲食物ヲ洗テ居ル
ト直チニ罰金、ト云フヤウナ風ニ行ケバ市
町村費ガ増ス、罰金ヲ納メナケレバナラヌ
ト云フヤウナ風ニナッテ行ツテ、私ハ此必要
ガアルナラバ國ノ費用ト云フモノヲ豊富ニ
セラレテカラオヤリニナッテハドウカ、只今
私ガ申上ゲルコトハ貴方ノ方デスラ六年度
ノ豫算ガ四万六千圓シカナイ、サウスルト
一府縣ニ千圓ノ補助、市町村ノ割合ヲ見レ
バ十圓カ十五圓ノ補助、斯ウ云フ法律ヲ作
テ十圓、十五圓ノ補助ガアル爲ニ何百圓、
何千圓ト云フ市町村費ガ殖エル、併シ衛生
局長ノ話デハ法律ナラバ信ジマス、現在ノ
市町村ノ衛生行政費ヲ増サザル範圍ニ於テ
此法律ノ條項ノ第三條ヲ行ヘトスウ云フコ
トガ施行細則ガ何處カニアレバ宜シイケレ
ドモ、ソレガ無カッタナラバ衛生費ト云フモ
ノハ衛生局長モ能ク御承知ダラウガ、市町
村ノ衛生費ノ豫算ノ編成方ハ斯ウ云フヤウ
ニナフテ居リマス、傳染病ナドハアルカナイ

五十圓カ百圓ト云フ僅ナ程度ノ支出ノ計上
ヲシテ居ツテ、サウンシテ一方ニ於テ萬一傳染
病ガアンタ場合ニハ、赤痢、霍疾ノ流行ラ
タ場合ニハ豫備費カラ持ツテ來ル、ソレモ出
來又場合ニハ臨時市町村會ヲ招集シテ増額
ヲ決議シテ、市町村民ノ負擔ヲ増シテ行ク
ト云フヤウニヤツテ行キ居ルノデアリマス、
従テ現在衛生局長ノ言ハレルヤウニ多額ニ
斯ウ云フモノハ初メカラ豫算ニ組ンデ居リ
マセヌ、從テ市町村費ノ現狀ヨリ増サザル
範圍ニ於テ第三條ノ命令ノ遂行ヲヤラウト
云フコトハ施行細則カ、何レカニ於テ括リ
ヲ付ケラレルベキモノデアル、括リヲ付ケ
ラレナケレバ第三條ニ依ツテ府縣知事ガ命
令ヲ發シタ場合ニハ市町村ハ爲サザルヲ得
ヌコトニナル、現在ノ衛生行政費ヲ増シテモ
ヤラナケレバナラヌ義務ガ生ジテ來ルト思
フ、法律デアルカラ……サウスルト現在ノ
衛生行政費ヲ増サザル範圍ニ於テ、地方長
官ガ命令スルト云フコトヲ何ヲ以テ之ヲ束
縛ナサル御考デアルカト云フコトヲ承ハッ
テ置キタイ

ウナモノハ賣買セマセヌヤウニ、例ヘバ
蔬菜ハ能ク之ヲ洗、テナケレバナラヌトカ、
或ハ寄生蟲病ノ媒介トナリマスルヤウナ豆
田螺或ハ卷貝ト云フヤウナモノノ棲ンデ居
リマスルヤウナ水草、雜草ト云フヤウナモ
ノノ始末デアリマストカ、サウ云フヤウ
ナモノニ對シテ適當ナ命令ヲ發スルト云フ
趣旨デアリマシテ、是ハ市町村ト申シマス
ルヨリハ個人ニ對スル義務ヲ規定スルコト
ヲ考ヘテ居ルノデアリマス、市町村ガ費用
ヲ負擔シナケレバナラナイヤウニ命令ヲ發
セラレルノハ第四條ニ基クノデアリマス、
此四條ニ基キマシテ市町村ガ費用ヲ負擔ス
ルヤウナ命令ヲスルト云フコトハ、是ハ豫
算ガナケレバ出來ヌコトデアルノデアリマ
シテ、ソレモ府縣ノ、或ハ市町村ノ現在ノ
豫算ノ範圍内ニ於テ負擔ヲ増サナイヤウニ
致スト云フコトハ、是ハ是等ノ法ヲ施行ス
ル上ニ於キマシテ地方長官ニ對スル内務大
臣ノ訓令通牒デ以テ之ヲ取締ル趣旨デ致シ
テ居ルノデアリマス、之ヲ法律若クハ規則
ノ中ニハ規定スルコトモドウカト存ズルノ
デアリマスルガ、訓令通牒デ以チ十分其趣
旨ヲ達スルコトガ出來ヤウカト思ヒマス
モ無シ、所謂規則ニモ無シト云フヤウナ場

管大臣カラ地方ニ向テ色ミナ訓令ガ出ルコトハ御承知ノ通リデスガ、アノ訓令ガ一ツモ行ハレテ居ラヌ方ガ大部分デアリマス、市町村ノ歳出ハ大變緊縮シテ、今年ハ一割減セ、一割五分減ラセト云フ訓令ガ出マスガ、訓令ヲ守タ地方ハアリマセヌ、又是ハ無理デス、私ハ斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ル、私ハ私ノ地方ノ縣會議員ヲヤッテ大分經驗ガアリマス、市町村會議員……市會議員モヤッタ經驗ガアリマスガ、一體斯ウ云フ風ニ色ミ國ガ制定ナサフテ、サウシテ之ヲヤレ、アレヲヤレト云フ法律ヲ作テ置イテカラニ、今度ハ節約セヨ、法律ノ方ハ改正ヲヤラズニ、片一方ニ節約ヲセヨト仰シヤルノハソレハ實際出來ヌコトデアル、斯ウ云フコトヲ爲サレテ今ノ訓令ニ依テ豫算ヲ超過スルト云フコトハ、假リニオヤリニナシタト假定スル、一方併シ斯ウ云フ法律ガ出来テ居ル以上ハ、只今ノヤウニ第三條ノ命令ヲ爲サル場合ハソレハ個人ヂヤト仰シヤルガ、個人デモソレヲ豫防スルニハ矢張リ餘分ノ經費ヲ掛ケナケレバ出來ナイ、ソレカラ第四條ノ方ニ至テハ勿論市町村ノ方ニ

申シマス豫算ノ範圍内デヤレト言フガヤレルモノハ誰モ無イ、豫算以上ニ矢張リ超過シテヤラナケレバナラヌノデアルカラ、是ハナカ／＼私ハ唯法律ダケ作ツテソレデ宜イナラバ宜イデス、實際ムツカシイコトヲ仰シヤラズニ、唯法律ヲ作ツテ置クナラバ宜イガ、併シ法律ヲ作ツテ置ケバ地方長官ガ之ヲドウシテモ利用スル虞ガアル、サウ云フ結果ニ陥ツテ、市町村ノ費用ガ増ス、ソレヲ訓令ニ依ラテ云々ト仰シヤルガ、訓令ハ行ハレマセヌ、施行細則カ何カデ以テ行ツテハッキラト書ケバ宜シイ、サモナケレバ此命令ハ行ハレマセヌ、ソレカラ假リニ之ヲ行ハレタト假定シテ行ツタトキデモ、府縣ノ補助モ國ノ補助モ市町村費ノ負擔モ全部國民ノ負擔デアリマス、市町村費ノ補助モ府縣力ラヌガ、施行細則ハ決メルヤウニナッテ居ラヌノデ分ラヌガ、全國ノ市町村ニ對シテ國ガ何程ノ補助ヲ與ヘルノデアルカト云フコトハ政府ハ凡ソ考ハアリマセウガ、此法律ノ上ニハ現ハレテ居ナイ、ソレカラ其府縣デ使フモノニ對シテハ六分ノ一ヲ國ガヤルコトハ明カダガ、但シ此第七條ハ何時施行

ノ勅令ヲ出スヤラ是ハ分ラヌ、疑問ノ問題
ダ、デアルカラ兎モ角モ僅ニ四万六千圓ノ
金ヲ以テ大變ナ事業ヲ始メテ國民ノ負擔ヲ
増サス、サウシテ國ハドノ位ノ補助ヲスル
カト云フト、府縣ヘ國ヲ通ジテ一市町村ニ
約十圓乃至十五圓ノ補助デ何百圓トカ何千
圓ノ事業ヲヤラス計畫ヲ御立テニナッテ居
ルコトハ餘リ感心シタコトデハナイ、勿論
此寄生蟲病ノ豫防ヲヤルコトガ惡イノデハ
ナイ、之ヲヤルコトハ宜イガ、費用ガ伴ハ
ヌコト、負擔ガ多クナルコトハモウ少シ國
民ノ收入ガ良クナッテ、景氣ガ良クナッタ時
代ナラバイザ知ラズ、今日ノ時代ニ、斯ウ
云フヤウナ費用ノ要ル法律ヲドンヽ遠慮
會釋ナク出スト云フコトハ是ハ誠ニ私ハ遺
憾ノヤウニ思ハレル、モ少シ景氣ガ直ルカ
ドウカシテ……ソレデ第七條デモ此法律ヲ
一遍デモ施行規則ヲ出サレテヤラウト云ヘ
バ六分ノ一ノ補助ヲ出スト云フコトデ、從
テ國モ相當考慮シナケレバナラヌガ、是ハ
考慮シテモイカヌコトガ一ツアル、茲ニ第
五條ノ市町村ニ對スル補助ノ率ヲ決メナケ
レバナラヌ、市町村ニ對シテ、市町村ノ使
タ費用ニ對シテ府縣ガ補助ヲ幾ラヤル、其
府縣ノ補助ニ對シテ國ハ六分ノ一ノ補助ヲ
スルガ、本法ノ施行規則ヲ國ガ勅令デ之ヲ

ガ府縣ニハ六分ノ一デアルガ、府縣ガ市町村ニ對シテ何分ノ一ニスルノデアルカハ何居ルヨリ仕方ガナイ、ダカラ市町村ガ使タ實費ニ對シテ府縣ハ何ボ負擔シテヤルトカ……府縣ニ對シテハ六分ノ一國ガ負擔スル、施行規則ハ勅令ヲ以テ一般ニ定ム、斯ウ云フ風ニヤラナケレバ秩序整然タル誰ガ考ヘテモ公平ナ良イ法律トハ思ハレナイト私ハ思フ、斯ウ云フヤウナコトヲ云シテ此法律ヲ通シテ仕舞タラ國民ハ四ノ五ノト云フコトハ出來ヌ、負擔シテ行カナケレバナラヌ、府縣ハ貴方ノ方ハ連絡ガアルカラ宜シイガ、幾ラクレルカ分ラヌ、市町村ハ……本省ガ五万圓ノモノガ三万圓シカナイカラ市町村ニ補助ヲ餘計ヤレヌト云フヤウニ、府縣ノ六分ノ一ノ連絡ハ取レルガ、市町村ト府縣ノ連絡ハドウシテ取レルカ

リマス、之ニ依ツテ府縣ハ市町村ニドノ位ノ
譯デアリマス、御話ノ如ク此豫算ヲ十分ニ
持チマシテサウシテ本法ヲ施行スルト云フ
コトハ、是ハ理想ト致シマシテ尤ナコトデ
アリマス、私共ト致シマシテモ十分ナ經費
ヲ投ジテ此病氣ノ撲滅ヲ圖ルト云フコトガ
出來マスコトハ是ハ望マシイコトト存ジテ
居ルノデアリマスガ、唯、遺憾ナガラ今直チ
ニ此法律ヲ完全ニ施行イタシマシテ、十分
ナ經費ヲ投ジテ此病氣ノ撲滅ヲ圖ルト云フ
コトハ啻ニ國バカリデナク、地方財政ノ上
カラ見マシテモ困難ナコトト考ヘルノデア
リマス、アリマスガ、唯、此病氣ヲドウシテ
モ撲滅シナケレバナラヌ、豫防シナケレバ
ナラヌト云フ思想ヲ國民ノ中ニ植込ムト云フ
點カラ致シマシテモ、此法律ヲ作リマシテ
置クト云フコトハ非常ニ效果ガアルコトト
存ズルノデアリマス、ソレデ完全ニハ施行
イタサレマセヌデモ、此法律ガ出來マシテ
其幾分デモ施行致サレマスト云フコトハ豫
防ノ上ニ一步ヲ進ムルコトニナルト考ヘマ
ス、若シ將來國及地方ノ財政ガ良イヤウニ
ナリマスレバ、直チニ此法ヲ適用イタシマ
シテ十分ニ效果ヲ擧グルコトガ出來ルヤウ
ニナラウト思フノデアリマス、先ヅ一方ト

致シマシテモ、是非此法律ニ依ッテ豫防法ヲ講ズルヤウニ致シタイ、斯様ナ希望ヲ持ッテ

○森田福市君 第五條ハ 施行規則ニ依ツテ

ト云フコトヲ承ハリタイト思フ、尙ホ施行規則ト云フハ省令デアリマセウ、サウスレバ直キニ自由自在ニ決メラレマス、議會ノ協賛ヲ經ズニ……是ハ地方ニハ國ノ豫算ヲ桶ニ取テ補助スルノデアルカラ、ソレヲ桶ニシテ市町村ニヤラレルト困ル、尙ホ又減額スルコトモ自由自在ニナルカラ、ソレデ是ハ完全ニ第五條ニ以テ行ッテ幾ラヤルト云フコトヲ明記シタ方ガ完全ナコトト思フ、ソレハイヅレ後ノ話デアリマスガ、是ハ決シテ討論デモ何デモナイノデアルガ、鬼モ角是デハ不安デアル、省令ニ任スト云フコトハ一層不安デアル、取敢ズ此法律ヲ作ツテ置イテ景氣ガ直ツテ金ガ出來タ時ニ是ハ實行スル、當分棚ノ上ニ入れテ置クベキモノデアッテ、實行スル法律デハナイ、サウスルト實行スル法律デナカツナラバ、實行スル時ニ作タラドウカトモ思ハレル、經ウト云フナラバ、此今會期ノ切迫シテカ費ガ出來テ景氣ガ好クナツテカラ實行シヤ

タリスル必要ハナイデハナイカト云フ氣ガ
スルノデアリマスガ、是ハ全ク良イト政府
ハ信ジテ御出シユナツテ居ルガ、實行スルニ
シテハ金ガ無イ、金ガ伴ハヌ、法律ハ作ラテ
モ實行ガ出來ヌト云フノデアリマスカラ、
貴方ノ方ノ豫算ト、懷口工合ヲ考ヘテヤラ
ナケレバナラヌ、一市町村ニ持ツテ行ツテ十
圓ヤ十五圓ノ補助シカ出來ナイモノヲ作
テ國民ニ之ヲ強フルト云フコトハ誠ニ不深
切極マルモノデアツテ、如何ニ衛生ニ力ヲ入
レテモ矢張リ力ハ金デス、斯ウ云フ法律ニ
力ヲ入レテ遂行スルニハ金デアリマス、金
ノ無イノニモノヲ作、テモ駄目ダト思フガ、
第一是ハ第五條ノ貴方ノ方ノ其處ニ御持チ
ニナツテ居ル施行細則デハ幾ラ府縣カラ市
町村ニオヤリニナルヤウナコトニナツテ居
リマスカ

○男爵紀俊秀著

此法律ニ付キマシテ、其ノ規定ト同ジヤウニ規定イシテ補助ノ率ヲ大體「トニアリマス、申上ゲマスレ費用ハ支出額ノ四分ノ一ハル費用ハ支出額ノ六分ノセザルコトヲ得ト云フコト村ノ支出額三十圓未満ナシノ規定ニナフテ居リマスガ規定ヲ設ケル心算デ居ルノ斯ウ心得テ宜シイデスカ此法律ハ出スガ、之ヲ施

○政府委員(赤木朝治君)

小デモ何デモ寄生蟲
ノコテ來タヤウニ思
トダケヲ却テ御説キ
デハ各人ニ依ッテ考
ニヤル所ハ苦シイ豫
ハ、ヤラヌ所ハヤリ
ニナルト、何モ此
外ガ解ラナイ、チヨッ
品ガ出マシテ尙ホサ
アリマスガ、サウ
ハノナラバ、法律ヲ
弊害ガ出テ來テ實際
テ仕舞フ、内務省ノ
カラ國民ハ寄生蟲ノ
劣メルダラウト考
デナクシテ行ツテモ
ノ法律デヤナイカト
ノ寄生蟲ノ驅除ト云
モノガ止メテ仕舞
結果ハ却テ反對ニ
宜シイノデアリマ
スルト云フコトハ今

直チニハ困難ト存ジマスルノデ、其コトヲ申上ゲタノデアリマスルガ、全然ヤラナクトモ宜イト云フ趣旨デハナイノデアリマシテ、例ヘバ第二條、第三條等ニ依シマスルコトハ、此法ニ依シテ相當出來ルノデアリマス、從テ此法ニ依シテ相當ノ效果ヲ擧ガルト云フコトガ出來ルト考ヘテ居ルノデアリマス、十分經費ヲ投ジテサウシテ完全ニ全國一樣ニヤルト云フコトハ相當ノ經費ヲ要シマスルノデ、今直チニ實行スルコトハ困難デアッテ、是ハ國及地方ノ財政ガ許スト云フコトニナリマシタラ出來ル、斯様ニ考ヘルノデアリマス、今直チニ其財政ガドンナデアッテモ斯ウ云フ病氣ヲ驅除シナケレバナラヌカラ財政ヲ構ハズニ實行スルト云フコトハ、是ハドウモ只今ノトコロ困難カト存ジテ居リマスノデ、或程度マデ出來タモノハソレハ將來財政ノ許ス時分ニ於キマシテ段々ト進メテ行キタイ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デゴザイマス

○男爵紀俊秀君 法理論ヲスルヤウデスガ、法律ヲ施行スル以上ハ法律ノ完全ニ徹底的ニ行ハレルト云フコトヲ期シテヤラナケレバ、此法律ヲ出スコトハ出スケレドモ、此法ニ依シテ相當出來ルノデアリマスルコトハ、是ハハイツ頃カラ大體出ス、是ハイツ頃カラ施行スルト云フヤウナ御見込ガアルカラ各條ニ付テ云フコトニナッテ居ルノデセウカ、其關係ハドウ云フ工合ニナッテ居リマスカ、大體ノ御見込ヲ伺ヒタイノデアリマス

○政府委員(赤木朝治君) 只今ノ所デハ第七條ヲ除ク外ハ大體施行出來ヤシナイカト考ヘテ居ルノデアリマス、他ノ府縣ノ支出ニ對シマシテ六分ノ一ノ補助ヲ致シマスト云フコトハ、此當然ノ、國ノ義務トナリマスレバ、直チニ施行スルコトハ困難トナルノデアリマスルガ、サウデゴザイマセヌデノアリマス、今直チニ其財政ガドンナデアリマシテ、財政上已ムヲ得ナケレバ其範圍内ニ於テ滿足スルト云フヨリ已ムヲ得ナリマシテ、財政上已ムヲ得ナケレバ其範圍内ニ於テ滿足スルト云フヨリ已ムヲ得ナリマシテ、財政上已ムヲ得ナケレバ其範圍内ニ於テ滿足スルト云フヨリ已ムヲ得ナリマシテ、財政上已ムヲ得ナケレバ其範圍内ニ於テ滿足スルト云フヨリ已ムヲ得ナリマシテ、財政上已ムヲ得ナケレバ其範

○政府委員(赤木朝治君) 只今ノ所デハ第七條ヲ除ク外ハ大體施行出來ヤシナイカト考ヘテ居ルノデアリマス、他ノ府縣ノ支出ニ對シマシテ六分ノ一ノ補助ヲ致シマスト云フコトハ、此當然ノ、國ノ義務トナリマスレバ、直チニ施行スルコトハ困難トナルノデアリマスルガ、サウデゴザイマセヌデノアリマス、今直チニ其財政ガドンナデアリマシテ、財政上已ムヲ得ナケレバ其範圍内ニ於テ滿足スルト云フヨリ已ムヲ得ナリマシテ、財政上已ムヲ得ナケレバ其範圍内ニ於テ滿足スルト云フヨリ已ムヲ得ナリマシテ、財政上已ムヲ得ナケレバ其範圍内ニ於テ滿足スルト云フヨリ已ムヲ得ナリマシテ、財政上已ムヲ得ナケレバ其範

○政府委員(赤木朝治君) チヨット私ノ申上ゲヤウガ惡イト思ヒマスガ、國ノ方ハ補助ヲ爲サンノデハナイノデアリマス、現ニ持テ居リマスル豫算ノ範圍内ニ補助ヲ出スメデゴザイマシテ、補助ハ詰リ此率ニ依テヤル積リナノデアリマス、併シ是ガ法律ノ義務トシテ出スト云フコトニナレバ幾ラアッテモ、幾ラ地方ガ出シテモ、其出スニ從テ出サナケレバナラスト云フコトニナリマスルカラ、其點ヲ考慮イタシマシテ豫算ノ範圍内ニ地方ノ施設ヲ制限スル、斯ウリマス、今直チニ其財政ガドンナデアリマシテ、財政上已ムヲ得ナケレバ其範圍内ニ於テ滿足スルト云フヨリ已ムヲ得ナリマシテ、財政上已ムヲ得ナケレバ其範

其苦痛ヲ受ケルモノハ府縣ト市町村デアル、市町村ハ地方長官ノ命令ナラバソレニ
從ハナケレバナラヌ、北海道長官及府縣知事ハ内務大臣ノ命令ニ依テヤルノデ、是ハ
モウ強制サレレバドコマデモ行カンナラヌ、サウシテ自分ノ懷ロカラ出ス金ハ當分
ヤラヌ、金ガ無イカラ今マデノ分デヤッテ置ケ、斯ウ云フコトニ歸スルノデアリマスカラ、積極ニハドウシテモオヤリニナラヌ、
今マデニ御述べニナツタ通り消極デオヤリニナルト云フコトニナル、消極ナラバ段々
他ノ諸君ガ御述べニナツタル通り斯ンナモノヲ出スノハ早イ、大藏大臣ニ能ク御交渉
ガ濟ンデ第七條ガ實行出來ル、六分ノ一ハ實ハ少イト思ヒマスガ、ソコマデ論及スル
コトデナイガ、兎ニ角多少デモ國庫ガ府縣ニ出サレル、警察費分擔金ノヤウナ工合ニ
府縣ガ是ダケノ寄生蟲病ニ金ヲ使ヘバ、政府ガソレニ應ジテ出スト云フコトノ御見込
ガ付イタ時ニ之ヲ出スモノデアッテ、一年半年遲クレテモ宜シイケレドモ、イツ來ルカ
ト云フコトモ宜シイケレドモ、云フコトデ、詰リ消極ノヤリ方デ爲サルヤ
分ラヌノニ四万ナンボノ金ヲ振撒イテ置クト云フコトデ、ウニ承ハリマシタケレドモ、積極デオヤリ

ル、市町村ハ地方長官ノ命令ナラバソレニ
從ハナケレバナラヌ、北海道長官及府縣知事ハ内務大臣ノ命令ニ依テヤルノデ、是ハ
モウ強制サレレバドコマデモ行カンナラヌ、サウシテ自分ノ懷ロカラ出ス金ハ當分
ヤラヌ、金ガ無イカラ今マデノ分デヤッテ置ケ、斯ウ云フコトニ歸スルノデアリマスカラ、積極ニハドウシテモオヤリニナラヌ、
今マデニ御述べニナツタ通り消極デオヤリニナルト云フコトニナル、消極ナラバ段々
他ノ諸君ガ御述べニナツタル通り斯ンナモノヲ出スノハ早イ、大藏大臣ニ能ク御交渉
ガ濟ンデ第七條ガ實行出來ル、六分ノ一ハ實ハ少イト思ヒマスガ、ソコマデ論及スル
コトデナイガ、兎ニ角多少デモ國庫ガ府縣ニ出サレル、警察費分擔金ノヤウナ工合ニ
府縣ガ是ダケノ寄生蟲病ニ金ヲ使ヘバ、政府ガソレニ應ジテ出スト云フコトノ御見込
ガ付イタ時ニ之ヲ出スモノデアッテ、一年半

年遲クレテモ宜シイケレドモ、イツ來ルカ
ト云フコトモ宜シイケレドモ、云フコトデ、詰リ消極ノヤリ方デ爲サルヤ
分ラヌノニ四万ナンボノ金ヲ振撒イテ置クト云フコトデ、ウニ承ハリマシタケレドモ、積極デオヤリ

ニナツタラ又大變デアル、ドチラデゴザイマ
之ヲ施行スル考デアリマス、將來財政ノ都合ガツクヤウニナリマスレバ漸次積極的ニ
セウカ、政府ノ御考ハ……

致シタイト思ヒマス

○委員長(侯爵大久保利武君) 今日ハ此位ノ程度ニシテ……

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○委員長(侯爵大久保利武君) 是ニテ散會イタシマス

午前十一時三十一分散會

出席者左ノ如シ

委員長 侯爵大久保利武君
副委員長 阪本彰之助君

委員

侯爵松平 康昌君

子爵實吉 安純君

子爵米倉 昌達君

男爵紀 俊秀君

若林 賀藏君

森田 福市君

政府委員

内務省衛生局長 赤木 朝治君

昭和六年三月二十三日印刷

昭和六年三月二十四日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局